議会だより 118号

2017.4

日頃の練習をはれの舞台で！（町民センター　3月26日）

第1回定例会　**水槽付ポンプ車購入、B＆Gプール改修**
診療所旧病室をデイサービス事業（通所型サービスA）に
プレミアム商品券事業　……2〜3P
絵本の里けんぶち観光地域づくり推進事業

一般質問　4名が登壇・町政をただす　……4〜7P

平成29年度予算決定　予算特別委員長報告　……8〜9P

予算特別委員会　質疑レポート　……10〜13P

町の財政状況（基金・地方債）　……14P

町民インタビュー・親しまれる広報をめざして　……15P

スポットライト・表彰・議会だよりの編集作業　……16P

平成29年
第1回定例会
3月2日~13日

消防ポンプ車更新に6,980万円を計上

条 例 改 正

○住宅新築・改修促進助成事業条例の一部改正

内容は助成期間を平成32年３月31日まで延長するものです。

可決

昨年度新築対象となった住宅

○税条例等の一部改正

主な内容は、軽自動車税を種別割に名称変更し、種別割のグリーン化特例の一年延長を行うなどです。

可決

○個人情報保護条例の一部改正

内容は条文の文言と条番号を改めるものです。

可決

○不妊治療費の助成に関する条例の一部改正

主な内容は、対象となる治療はタイミング法及び人工授精並びに体外受精及び顕微授精の不妊治療とするに改めるなどです。

可決

○健康診査手数料条例の一部改正

内容は手数料の種類に婦人科超音波検査500円を加えるものです。

可決

○職員の育児休業等に関する条例の一部改正

主な内容は、非常勤職員等の育児休業について改めるものです。

可決

○介護保険条例等の一部改正

内容は医療介護総合確保推進法に規定する介護予防・日常生活支援総合事業が平成29年４月１日から実施可能になったことで、日付を改めるものです。

可決

条例全部改正

○地域支援事業条例の全部改正

介護予防、生活支援サービスの多様化と包括支援事業の充実を図るため条例の全部を改正するものです。

可決

補 正 予 算

○一般会計に１億1,887万円を追加しました。（第10号）

主な内容は、担い手確保・経営強化支援事業に521万円、桜岡宿泊施設多機能型整備工事に１億820万円などです。

可決

担い手支援事業で導入されたトラクター

○一般会計に925万円を追加しました。（第11号）

主な内容は、担い手対策推進事業の新規就業奨励金に12万円、農業経営力向上支援事業補助金に40万円、衛生費のごみ収集運搬等処理事業、２町生ごみ広域処理施設維持管理運営負担金に97万円などです。

可決

補助金対象となったビバマルシェの事務所

次ページ左上から

前ページ右下よりつづく

○国民健康保険事業特別会計から375万円を減額しました。
　主な内容は、27年度交付額の国庫金確定や精算返還金の確定に伴い補正をするものです。
可決

○町立診療所特別会計から280万円を減額しました。
　主な内容は、不用額見込みがある項目と一般会計繰入金の減額による補正です。
可決

○介護保険事業特別会計に732万円を追加しました。
　主な内容は、高所得者の増加により保険料収入が増加したため補正するものです。
可決

○簡易水道事業特別会計から3,865万円を減額しました。
可決

○下水道事業特別会計から1,185万円を減額しました。
可決

発　　議

○閉会中の継続調査の申し出
- **議会運営委員会**
  議会の会期日程など議会の運営に関する事項について

○懸案事項の促進及び調査のための議員派遣
- **全道町村議会議員研修会**
  札幌市　　平成29年７月４日（２日間）
- **全道議会広報研修会**
  札幌市　　平成29年８月22日（２日間）

○所管事務調査報告の訂正
　平成28年12月20日に提出した総務厚生常任委員会報告書について、調査目的の数値に誤りがあり訂正します。
　内容は、「当初平成40年まで埋立て可能……」を平成25年に訂正するものです。

予　　算

平成29年度各会計予算については予算特別委員会に付託し慎重に審議しました。主な質疑内容は10～13ページに掲載しています。

○平成29年度一般会計予算
可決

賛成討論する畠山議員

賛成討論

畠山弘美議員
　29年度一般会計は36億5,700万円の予算案でした。農地排水機能向上対策では、暗きょ資材等の補助額を２倍に引き上げたことは農業者にメリットのあることです。農業ブランド化事業は２年目に入り地方創生として重要な部分です。教育関係では中学校自転車通学路整備や老朽化したＢ＆Ｇプールの改修が行われます。福祉では診療所旧入院病棟を社会福祉協議会が核となりデイサービス事業として活用することに期待しています。観光ではレークサイド桜岡の２階と３階の改修を行いシングルルームを整備するので収支改善を目標に努力をして下さい。
　剣淵のブランド力を高め、町をＰＲしても受入側の接客が悪いとお客や住民はマイナスの感情をいだくので、役場職員やレークサイド社員は絵本の里けんぶちにふさわしい接遇マナーを身に付けてほしいです。

○平成29年度国民健康保険事業特別会計予算
可決

○平成29年度国民健康保険町立診療所特別会計予算
可決

○平成29年度後期高齢者医療特別会計予算
可決

○平成29年度介護保険事業特別会計予算
可決

○平成29年度簡易水道事業特別会計予算
可決

○平成29年度下水道事業特別会計予算
可決

問 レークサイド整備と地方創生事業の強化策は

髙橋　毅　議員

今回地方創生拠点整備交付金がついたことにより、レークサイドの宿泊客の個室ニーズに応えるべく保養室2部屋をシングル6室に、ゲームコーナーを移住体験や農業体験実習の相談受入機能を有する事務室に、それによりワンストップ窓口を確立し地域商社事務室をも創る。また3階和室6室をシングル9室に改修する計画を立てている。レークサイドも創設当初に比べて、社会情勢の変化に対応した施設整備と地域商社が地方創生と地域経済活性化の柱となる。そこで核となる人材の確保が重要となるのでその見直しはどうか。また道の駅と農産物直売所と地域商社の関連性はどのようになっているのか。

答 シングルルーム新設と人材確保に努める

早坂純夫 町長

早坂町長

レークサイドが地域商社の機能を担うためにも人材確保が最優先課題である。平成28年度は深刻な人手不足にはなっていないが求人活動は継続している。結果として29年度から主に道の駅のマネジメント業務を担ってもらう人材の雇用が決定した。道の駅の売店、レストラン、農産物直売所の売り上げがまだまだ伸ばせると言われながら、それができる職員が不足していたが、この雇用により直売所を含めた道の駅全体が地域の農産物や地場産品などの流通販売を牽引し、レークサイドが地域商社として歩みだすための第一歩と考えている。高速道路パーキングエリアの整備も、剣淵町内やレークサイドの入りこみ客の増加へつながるものと考えています。

髙橋議員

レークサイド改修を何月から始め何月に終わるのか。町民や町外の利用客への周知方法や、休業をしないで工事を進める難しさもあるが安全策は。またこの大改修をきっかけに、レークサイド、道の駅双方の接客サービス向上の機会とすべきと思うが考えは。

早坂町長

本格的な工事は9月頃になると思う。2階の保養室の改修を先に行い、終了後3階の工事を進める方法をとる。11月頃にはお風呂にいく2階は今まで通り使えるようにしたい。冬季のマツダ隊員の宿泊までには全面完成させたい。

レークサイドの町内外の利用者には入浴受付や通路などの案内と安全に努め今回の1億円を超える大改修を機会に職員の資質向上を定期取締役会でも取り上げ接客サービス向上に力を入れていきたい。

レークサイド内部の改修される保養室

問 ふるさと納税の見直しを

大澤秀明 議員

町のふるさと納税の寄付額が前年度を大幅に下回っている。行ってきた取り組みと現在の状況は。

早坂町長

パンフレット作製、※1ポータルサイトの「ふるさとチョイス」への掲載、クレジット決済の導入等を行った結果27年度は1200万円の寄付が寄せられたが28年度は760万円となっている。昨年10月には一部返礼品を見直しました。

大澤議員

成功している自治体は民間も含めアイディアを出し合い、その輪が広がり町づくりの一つの起爆剤となっている。またポータルサイト内の商品画像にも工夫が凝らしてある。一方剣淵では担当職員と協力隊の仕事に留まり商品の工夫は疎か、内容の詳細も記されていない。町としては財政が厳しい中、町の経済効果としても貴重な事業であるにも関わらずあまり重要視していない印象を受けるが。

早坂町長

財政面、経済効果の面で重要な部分と考えている。今後直ちに改善できる点は改善し、所管課だけではなく庁内横断的な考えを持っていきたい。

大澤議員

過剰な返礼品の問題もある中、返礼品を出さずに一つのプロジェクトに賛同者を募るファンド型のものもある。町づくりの重点施策に活かせないか研究してみてはどうか。

早坂町長

町で実現したい目標などが定まれば挑戦していきたい。

答 直ちに改善できるところは改善する

早坂純夫 町長

親切な窓口対応を含めた町のおもてなしの姿勢について

大澤議員

各施設の窓口対応は以前から町民から指摘されているがパソコン業務中心の中、その仕事の傍らで対応を行っているという印象を受ける。応対姿勢を見直すべきではないか。

早坂町長

日頃から接遇応対研修の実施や課長会議を通じて指導を徹底してきたが、町としても今後より一層職員の資質向上に努めていきたい。

大澤議員

この点を見直していかなければ現在進めている観光政策はいくらハード面が整備されても成功に結びつかない。また、一部の町の関係者と団体だけが携わっていて一般の町民までは取り組みが浸透していない。町民に企画を周知するだけではなく町民一体となり受け入れ態勢を作り上げていく必要があるのではないか。

早坂町長

以前から観光ボランティア等話には上るがなかなか行動に移せなかった。今後町のホスピタリティ※2向上のためにも町民の協力の輪が広がるよう働きかけていきたい。

(用語解説)

※1 ポータルサイト
紹介のまとめサイト

※2 ホスピタリティ
思いやり

問 役場内の「グループ制」の検証と今後の考え方は

髙橋一博 議員

平成19年7月より役場内の行政改革の一つとして「グループ制」を導入し現在に至っている。メリットとして次の5項目がある。

1、事務配分の合理化と繋閑の解消。
2、意思決定のスピードアップと事務の効率化。
3、課長権限による迅速で柔軟に対応できる課内編成。
4、組織全体の活性化と業務視野の拡大。
5、職員のやる気を引き出し機動性に富んだ職場環境づくり。

これら5項目に対して町長はどう評価しているか、また町民や職員サイドからの評価はどうか。

答 新年度に検討組織を設置し見直しを

早坂純夫 町長

早坂町長

人口減少による過疎化の進行や地方交付税の削減等による財政状況の悪化により職員数の削減、課の統廃合を実施してきた。しかし行政事務や電子化の進展により事務量は増大し複雑多様化していることから第2次剣淵町行政改革大綱の推進項目の一つである組織機構の見直しとして「グループ制」の導入を実施してきた経過にあり、質問の5項目の評価については当初町民から分かりづらいとの意見があり、総合案内窓口の設置や住民課と健康福祉課での各種申請等の総合受付など住民サービスが低下しないよう努めてきた。しかし職員の絶対数の不足、特に40歳代の職員の不足により多くの課長がグループ長を兼務している状況にあり、職員がそれぞれの業務を担当しており相互理解が困難な状況からメリットである5項目に対しグループ制の機構が十分発揮されていないと感じます。

髙橋議員

町長は現在の「グループ制」を今後も継続していくのか、または廃止、見直しをして新たな効率的で効果的な機構にしていくのか伺いたい。

早坂町長

現段階では「グループ制」を継続か廃止かを明確に答えられない。

新年度に検討組織を設け検証と組織機構の見直しを検討します。

髙橋議員

「グループ制」に取り組む前の係り制が町民側にとって分かりやすいこともあり見直しに向けて再度検討すべきと思うがどうか。

早坂町長

町民の方が窓口に来て誰が担当者か不便を生じた事もあり、町民の方への不都合を解消しつつ検討を進めるので今しばらくの時間をいただきたい。

問 集団フッ化物洗口の実施に危険はないのか。

畠山弘美 議員

集団フッ化物洗口で心配な点は、使用されるフッ化ナトリウム試薬は劇薬指定であること、また、保護者の選択制とはいえ学校で実施するため強制になりやすく、学校生活にゆとりがなくなることである。保護者説明では安全性と有効性が強調され急性中毒、フッ素症、発ガン性の疑いなどの危険性が伝わっていない。なぜ小学校と保育所でフッ化物洗口を実施するのか。

早坂町長

薬剤は劇薬であっても薬剤師が濃度を調整するので十分安全に配慮されている。学校内で濃度調整をすることはない。危険性が伝わってないと言うが統計的な数字の中で安全性が確保されている。フッ化物洗口開始前に全保護者から洗口希望の有無を申込書により調査実施する。洗口するしないはお子さんの状況を判断して選択肢があることを理解していただきたい。

半田教育長

北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例が制定され、フッ化物洗口に取り組むよう道から通達は来ている。多くの市町村が実施している状況も把握している。町は推進の立場ではあるが一方的な指導で進めるものではなく、保護者の理解も得て学校として安全な体制を作らなければ実施できないと考えました。

田中住民課長

道の保健福祉部局からもすすめがありフッ化物の危険性や報告を調べ、近隣保育所や歯科医師にも調査・聞き取りを行い保育所の中で検討してきた。取り組み内容が理解できる年長児に、週2回法で試行してみるという話になりました。

畠山議員

上手にうがいができない子に対するからかい、洗口を受けない子に対する感情、口内炎がある、咳が出る時などはどう考えているのか。洗口をしたために健康被害が起きてしまうことは避けなければならない。洗口液を飲んでも危険はないというが、急性中毒がどういう状態なのか関係者全員が知っておく必要があると思う。

早坂町長

当然のことで関係所管課にきちんと指示をさせる。洗口を受けるは選択肢がある。当日の朝でも保護者から連絡があれば急きょ変更する場合もあります。

畠山議員

洗口の希望は保護者だけではなく、子ども本人の意思も反映させるのがいいと思うがどうか。学校や保育所の事業見直しの時は大人側の都合ではなく、立場の弱い子どもたちの心や身体のことを第一に考えて検証を行うべきだ。

早坂町長

子どもの人権を尊重するのは当然のことである。計画で子どもの事を考えるのはあたりまえなので、そのように進めたいと思います。

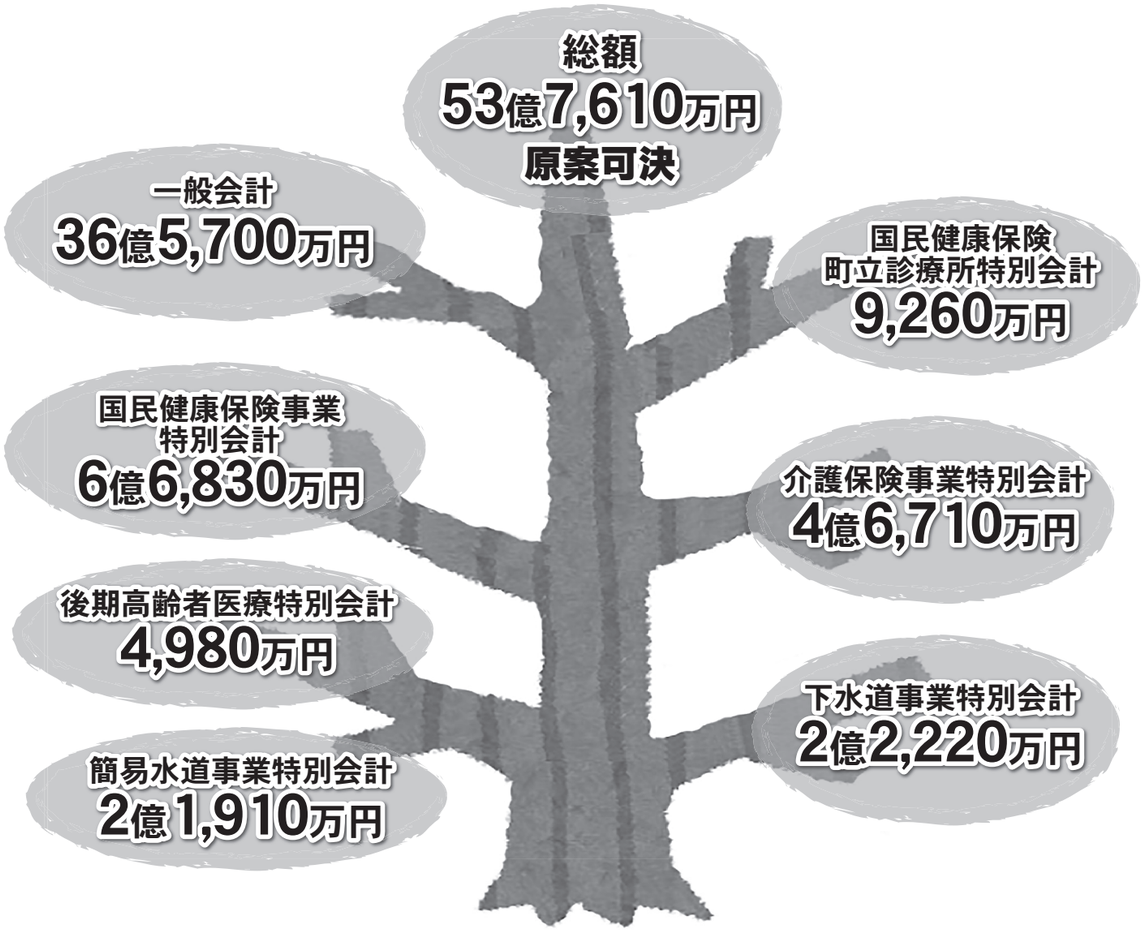
フッ化物洗口の資料

答 洗口液は学校外で薬剤師が濃度を調整する。

田中住民課長

半田教育長

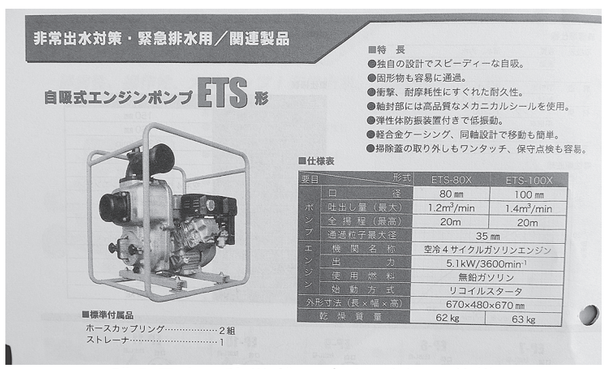
平成29年度　予算決定



新規購入される水槽付消防ポンプ車（同型車）

改修されるＢ＆Ｇプールサイド（1,600万円）

デイサービス事業に活用される診療所旧病室



購入予定の防災ポンプ（２台）の仕様

改修工事に伴ない撤去されるゲームコーナー

昨年のプレミアム商品券の引き換えのようす（今年も実施）

けんぶち農業ブランド化推進事業　キヌア栽培圃場

予算特別委員会委員長報告

将来を担う子ども達を支え活気ある郷土づくりに期待!!

予算特別委員会　委員長　髙橋一博

予算特別委員会は、去る3月7日～9日まで開催され、特別委員会に付託された平成29年度一般会計ほか6特別会計予算及び予算関連議案も含め、慎重に審議した結果、いずれも委員全員の賛成をもって原案のとおり可決すべきものと決定したところです。

平成29年度予算では一般会計が前年度比0.2％増の36億5，700万円、6特別会計を加えた予算総額は53億7，610万円、2.8％増となります。地方交付税の減額が予想される中、基金を取り崩しての予算編成になったことから、慎重かつ厳格な予算執行を求めるものであります。

地域の産業振興において農・商工業の担い手育成が最重点課題であることから継続して各種の支援事業を実施することは未来への投資として大いに評価するものであります。

２年目となる「けんぶち農業ブランド化推進事業」については地方創生の核となることから、キヌア栽培技術の確立と生産体制の構築などを含め、早期に具体的な成果を望むものです。昨年の大雨被害を受け、「農地排水機能向上対策事業」の補助額を倍額支援したことは、農作物の生産性の向上に寄与するものと捉えるとともに、「ビートハーベスタ更新」補助についても農業への投資意欲喚起に資するものと考えます。

商工業の振興として、昨年に引き続いての「プレミアム商品券」発行支援は、町内経済の消費拡大となることに期待するものです。

町づくり観光に重要な位置付けがされているレークサイド桜岡を地方創生拠点整備交付金の対象とされたことは担当職員の熱意の賜物と大いに評価するとともに、新たに「桜岡宿泊研修施設多機能型整備事業」の実施により「けんぶちブランド」の発信の拠点としての役割を果されることに期待し、町内の産業振興につながり、かつレークサイド桜岡の経営改善となることを切に望むものです。地域創生につながる諸事業の実施にあたっては一部の関係者に限られることなく、より多くの町民参画を目指した活力ある事業となるよう努め、そのための周知や参加者の理解と協力が欠かせないと考えます。

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化していることから、今年度より地域で子どもたちを支える取り組みとして「地域学校協働活動」を進めます。地域住民や企業・団体などの参画により成長を支えることが望まれ、多くの町民の協力に期待するものです。

新たに特定不妊治療費の助成やＢ型肝炎の予防接種などが始まることから、少子化対策や疾病の予防や早期発見、早期治療につながることを願うものです。また、「介護予防・日常生活支援総合事業」も始まることから、要支援相当の方や元気な高齢者までの介護予防と日常生活の自立を支援することや社会福祉協議会が行うデイサービス事業に取り組むことなどにより、より身近な福祉の充実が図られることはまさに高齢化が進む本町にとって重要な施策と考えます。

厳しい財政状況にある中、健全財政を堅持し住民福祉向上と産業の発展を目指し、町民が安心して住み続けられる「絵本の里けんぶち」として、町民一丸となって取り組むことに期待し委員長報告とします。

平成29年度 予算特別委員会 質疑

歳入

髙橋(毅)委員

町税滞納繰越者が固定化しているが、回収はどのような傾向か。また昨年の災害被害者の減免はどうなったのか。

田中住民課長

地方税法に則って勧告、納税相談、分納相談を行っています。災害の減免については辞退者と対象外があり対象者はいません。

古山委員

町たばこ税の税収が年々減っているが、今後も減ると考えられるのでたばこ税に代わる税制は考えられないのか。

田中住民課長

地方税法に則って税を徴収しており、担当としては独自の税ということは考えられません。

髙橋(毅)委員

使用料に関して農林水産業費分担金が前年対比1，444万5千円減少している。道営事業の事業量が減ったということは受益者の要望が減ったのか、道全体の事業量が増えて減額となったのか。又、福寿寮は現在2室空いているのをどの様な形で入居してもらうのか。更に住宅使用料滞納繰越分67万円について滞納者の支払いに見通しがたっているかを伺いたい。

竹内農林課長

土地改良事業分担金については当初要求の7割程度となっていることから今後も受益者の要望に応えるように努めます。

予算特別委員会は3月7日から9日までの3日間開かれ慎重に審議しました。その中での質疑の一部を掲載します。

道営事業の暗きょ工事

酒井健康福祉課長

現在2名2室空いており地域包括支援センターの高齢者担当がピンポイントであたっていますがなかなか進まない現状です。

舘野建設課長

住宅使用料の滞納繰越は若干増える傾向ですが、計画的に解消していくよう毎月本来の家賃に増額して納めてもらっています。

古山委員

桜岡・ふれあいパークゴルフ場の収入が減額となっているが、PR不足と今後プレイヤーを増やすなどの対策は考えているか。

現在２室空き室がある福寿寮

宍戸町づくり観光課長

パークゴルフ場、オートキャンプ場についてはレークサイド桜岡と協力し、旭川・札幌方面のスポーツ用品店等に営業をかけていきたいです。

歳出

武山委員

現在のバス事業で乗降客が減少しており路線の見直しが必要でないか。

上林総務課長

指摘のとおりであり今後、路線の見直しやバスの規格も更新時に検討したい。尚、スクールバスは継続運行と考えています。

利用客が減少しているパークゴルフ場

予算特別委員会

乗降客が減少している町営バス

髙橋(毅)委員
マイナンバー制度があると住基ネットは不要か。
田中住民課長
マイナンバー制度と住民基本台帳ネットワーク事務は全く別であり必要です。

髙橋(毅)委員
長寿祝い金の支給対象者は。
田中住民課長
喜寿49人、米寿36人、白寿5人です。

髙橋(毅)委員
手話奉仕員養成事業の進め方は。
酒井健康福祉課長
チラシ、広報等で募集していますが希望者は少数。現在はふれあい広場等で手話教室を開催しています。

生出委員
君の椅子事業の椅子の作製は東川だけでなく地元で作製できないのか。
早坂町長
デザイナーの意向もあり地元作製はむずかしいが引き続き話をしていきたい。

（旧モデル）君の椅子

畠山委員
今年度サハリンとの交流で児童の参加を公募するというが、海外の文化に触れるためにも沢山の参加者がでるようにしてほしい。
宍戸町づくり観光課長
英語圏でなく口シア語圏なので心配をしているが周知徹底して少しでも多くの参加を促したい。

大澤委員
定住対策としての町内の空き家のPRはどう進めるのか。
宍戸町づくり観光課長
町外者向けパンフレットを制作中でこのなかで現在まで定住している方の声ものせてPRしています。

生出委員
地域おこし協力隊の募集にあたっては目的をはっきりとさせて町の支援にあたってもらう募集をすべきと思うがどうか。
宍戸町づくり観光課長
地域おこし協力の制度としては生出委員の言うことと自分がどんな事をしたいかと応募する、2点あることを理解してほしい。

大澤委員
公営住宅住宅使用料で修繕費を民間では現使用者が負担するものを町で修繕するのはいかがなものか。
舘野建設課長
公営住宅は民間のように敷金で入居者に負担を求めるのは難しいと思います。

生出委員
公営住宅で現状で何戸の空きがあるのか。
舘野建設課長
元町東団地に22戸、土木車庫の南側に10戸、西原団地に3戸の空きがあります。

今後解体予定の公営住宅の空き屋

卯城委員
建設機械の整備補助金で11t除雪ドーザーが2千470万の予算で417万の補助は少なくないか。
舘野建設課長
国の補助は本来⅔ですが更新を希望する市町村が多く全体予算が削られこの額になりました。

11ｔ除雪ドーザー（H12年導入）

畠山委員
統計調査で就業構造調査はどのような内容か。

上林総務課長
　5年に一度住民をランダムに抽出し就業の調査を行うもの。

畠山委員
妊婦が救急車に乗れないと女性の間で広まっているが本当か。

清水副町長
　消防では要請があれば出動します。旭川などかかり付けの病院への搬送は協議を進めなければなりません。

髙橋(毅)委員
今年の農業委員改選は、立候補から推薦に変わり、地区や団体から11名中立的委員を行政職や農協OBから選ぶ。評価委員会の設置もあり今後のスケジュールは。

足立農業委員会事務局長
　現在選挙で選ばれた9名と団体3名の12名で組織しています。各地区、団体より11名推薦してもらい中立的委員を1名置く予定でいます。4月20日～5月17日まで公募し、定数になれば評価委員会を開き、その意見を町長へその後6月定例議会に出せるよう準備を進めていきます。

畠山委員
農業研修受入事業で昨年の実績と今年の予定は。

竹内農林課長
　28年は受入はありませんでした。29年は5月下旬札幌の中学生160名を和寒と剣淵で農業研修受入を予定しています。

大澤委員
農業ブランド化推進事業でのアドバイザー謝金、一年目の成果、二年目の予定、パッケージデザインの考え方は。

竹内農林課長
　一年目はビバマルシェ、福有会、ひまわり会、北の杜舎、トマトジュース組合が対象で、食育等の充実、絵本をベースにした産業交流、農家レストランの指導を受け、二年目は大地の会、がんこもの組合、トイトイトイを予定しています。ブランドマークデザインは絵本の里をイメージした統一マークで各団体に使用をお願いします。

㈱ビバマルシェ

絵本の里
けんぶち町
ブランドマーク

卯城委員
鳥獣捕獲業務でハンターの数が少なくなってきてると思うが、実情は。

竹内農林課長
　従来は20人近くいましたが、今は8名位です。エゾ鹿の捕獲も100頭を超える状況です。

髙橋(毅)委員
商工会のプレミアム商品券5千セットを販売するが販売時期と方法は。

宍戸まちづくり観光課長
　商品券はプレミアム率が20％で6月販売開始で昨年と同じ方法で取り扱います。

髙橋(毅)委員
じんじんのDVDとじんじん～其の二～の上映予定は。

宍戸まちづくり観光課長
　DVDは観光課で購入の取りまとめをしています。じんじん～其の二～は剣淵という言葉がふんだんにでてくるので、早いうちに上映会を計画しています。

大澤委員
レークサイドの経営で商社部門の位置付けは又、事業計画にも入れるべきではないか。

予算特別委員会

早坂町長
　取締役会で多角化について理解をもらっています。商社は未知数な点もあり事業計画にはのせていません。1～2年すると方向性は見えてくると思います。いずれにしても全体のスキルアップが必要です。

古山委員
道の駅に業務課長が配置されますがレークサイドとの関係は、町長も接客向上に訓示だけでない取組みが必要だと思います。

早坂町長
　接客は開設以来の課題ですが、役場職員も含め向上に努力します。

畠山委員
中学校に図書室司書を置く計画はあるのか。

半田教育長
　中学校は絵本の館と連携をはかり派遣してもらいます。学校図書も図書館的な方向に整備を進めたいと思います。

髙橋(毅)委員
地域学校協働活動推進事業がスタートしますが来年度からのコミニュティースクールとの関連及び国からの補助金⅓の内容は。

鹿野教育課長
　学校と地域を結ぶ役割でもう一方は学校運営の事なので関連していません。補助金はいままでも実施してきた事業などに対する補助金です。

卯城委員
プールでの事故防止についてどのような対策が講じられているか。

半田教育長
　学校での指導は、高い所からの飛び込みはしませんし監視を十分に行います。

髙橋(毅)委員
地域支援事業として診療所の入院病棟の一部を使用して要望の多いデイサービスを実施するとの事ですが詳しい内容を。

デイサービスに向け改修中の旧病室

酒井健康福祉課長
　社会福祉協議会が中心となり運営をします。また該当者説明会もすでに実施し、ひらなみ荘に負担とならないように進めます。

卯城委員
特別職報酬審議会の答申で報酬の引き上げがありましたが、平成29年度からなぜ出来ないのか。

早坂町長
　答申のなかで含みもあるので、町長判断で昨年の災害を考え出来れば平成30年からと推測しているところです。

卯城委員
町長だけの値上げではなく他の役職者全体のことなので充分に考えてほしかった。

早坂町長
　答申の最後に奥の深い意味あいを感じたのと、一年早いと判断しました。

予算特別委員会のようす

剣淵町の（基金）貯金と（起債）借金の現況

基　金　の　状　況（見込み）

（単位：円）

種類		平成27年度末残高	平成28年度中			平成28年度末残高	平成29年度中		平成29年度末残高（見込）
			H27決算剰余積立金	支消（決算）	積立（決算）		支消（予算）	積立（予算）	
財政調整基金		651,297,473	40,000,000	107,358,000	94,300	584,033,773	90,000,000	48,000	494,081,773
減債基金		451,109,907	30,000,000	90,000,000	80,000	391,189,907	90,000,000	35,000	301,224,907
小計①		1,102,407,380	70,000,000	197,358,000	174,300	975,223,680	180,000,000	83,000	795,306,680
その他特定目的基金	教育施設整備基金	78,867,235			20,000	78,887,235		6,000	78,893,235
	公共施設整備基金	339,469,359		43,000,000	89,000	296,558,359	37,600,000	30,000	258,988,359
	地域振興基金	13,427,435		3,940,000		9,487,435	4,340,000		5,147,435
	人材育成基金	40,104,890		1,100,000	8,750	39,013,640	900,000	4,000	38,117,640
	地域福祉基金	53,113,968			13,000	53,126,968		6,000	53,132,968
	中山間ふるさと水と土保全基金	10,610,647				10,610,647			10,610,647
	一般廃棄物処理施設整備基金	87,903,740			16,250	87,919,990		7,000	87,926,990
	観光施設整備基金	86,869,049			23,000	86,892,049		9,000	86,901,049
	ふるさと応援基金	22,310,000		11,637,000	8,197,000	18,870,000	8,370,000	8,000,000	18,500,000
	小計②	732,676,323	0	59,677,000	8,367,000	681,366,323	51,210,000	8,062,000	638,218,323
①+②		1,835,083,703	70,000,000	257,035,000	8,541,300	1,656,590,003	231,210,000	8,145,000	1,433,525,003
定額運用基金	育英奨学基金	19,250,292				19,250,292			19,250,292
	酪農振興基金	13,881,758			3,250	13,885,008		1,000	13,886,008
	産業経営者育成基金	229,903,833			26,250	229,930,083		9,000	229,939,083
	土地開発基金（土地代含む。）	60,373,017			15,000	60,388,017		6,000	60,394,017
	小計③	323,408,900	0	0	44,500	323,453,400	0	16,000	323,469,400
一般会計基金合計 ①+②+③		2,158,492,603	70,000,000	257,035,000	8,585,800	1,980,043,403	231,210,000	8,161,000	1,756,994,403
特別会計	国民健康保険基金	60,023,626		8,000,000		52,023,626	25,000,000		27,023,626
	介護給付費準備基金	28,610,041		7,000,000		21,610,041	7,000,000		14,610,041
	簡易水道施設整備基金	2,337,176		2,337,176		0			0
	特別会計基金合計	90,970,843	0	17,337,176	0	73,633,667	32,000,000	0	41,633,667
一般会計 ＋ 特別会計		2,249,463,446	70,000,000	274,372,176	8,585,800	2,053,677,070	263,210,000	8,161,000	1,798,628,070
北海道市町村備荒資金組合		218,519,800			1,500,000	220,019,800		1,500,000	221,519,800
総合計		**2,467,983,246**	**70,000,000**	**274,372,176**	**10,085,800**	**2,273,696,870**	**263,210,000**	**9,661,000**	**2,020,147,870**

地方債現在高の見込みに関する調書

【　一　般　会　計　】

（単位　千円）

区分	平成27年度末現在高	平成28年度中		平成28年度末現在高見込額	平成29年度中		平成29年度末現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額		起債見込額	元金償還見込額	
1．公営住宅建設事業債	432,925		34,978	397,947		28,951	368,996
2．災害復旧事業債		4,000		4,000			4,000
3．緊急防災・減災事業債	1,500			1,500		125	1,375
4．教育･福祉施設等整備事業債		5,200		5,200	41,700		46,900
5．一般単独事業債	447,905		77,579	370,326		65,974	304,352
6．過疎対策事業債	1,034,318	177,600	95,681	1,116,237	221,300	111,327	1,226,210
7．財源対策債	46,788		12,771	34,017		9,777	24,240
8．減税補てん債	11,568		2,075	9,493		2,100	7,393
9．臨時税収補てん債	3,208		1,588	1,620		1,620	0
10．臨時財政対策債	1,543,251	95,874	103,165	1,535,960	110,000	107,558	1,538,402
合計	3,521,463	282,674	327,837	3,476,300	373,000	327,432	3,521,868

※元金の数値であり、利子は含んでいない。　　※区分は「地方財政状況調査」による。

【　特　別　会　計　】

（単位　千円）

区分	平成27年度末現在高	平成28年度中		平成28年度末現在高見込額	平成29年度中		平成29年度末現在高見込額
		起債見込額	元金償還見込額		起債見込額	元金償還見込額	
1．簡易水道事業債	619,948	12,100	49,824	582,224	33,100	51,517	563,807
2．下水道事業債	452,750	11,900	39,752	424,898	19,000	40,980	402,918
3．農業集落排水事業債	57,763		3,510	54,253		3,571	50,682
合計	1,130,461	24,000	93,086	1,061,375	52,100	96,068	1,017,407
一般会計＋特別会計合計	4,651,924	306,674	420,923	4,537,675	425,100	423,500	4,539,275

町民インタビュー

親しまれる広報をめざして

インタビュー項目

①興味を感じる記事は
②紙面の良い点・改善点
③町や議会に対するご意見

みんなの声がまちづくり

小中学生の医療費無料化は今後も継続を

仲町　宍戸　彩 さん

①議会だよりはいつも読んでいます。一般質問とスポットライトは興味深いです。

②文字の大きさや網かけなど紙面に変化があり読みやすい。カラーにするとより親しみやすいと思います。

③小中学生の医療費無料化は今後も是非継続してほしい。アレルギー疾患の子どもは通院回数も多く保護者にはとても助かります。

新規就農者に対する受け入れ体制の整備を早急に

西原町　尾崎克哉 さん

①農業に関する記事、政策など。議員の質疑応答。

②全体的に写真が多く見やすい。

③農家を始めたい若者が増えているが新規就農者への受け入れ態勢が本町には整っていないので早急に整備が必要と思う。また、農業体験研修を積極的に進めるため、受入先となる若者への意向調査も必要と思う。

スポットライト
文化協会

地域文化のさらなる発展を目指して

剣淵町で開催の道北文化集会より

剣淵町文化協会の前身は、昭和38年6月に文化サークル6団体で結成された剣淵町文化連盟で、その後、生活様式の変化とともに様々なサークルが加盟して会員数も増加したことから、平成9年にそれまでの組織名称を文化連盟から文化協会に改め、平成25年に創立50周年の節目を迎え現在に至っております。

現在の加盟団体は、カメラ愛好会、剣淵水墨画会、剣友墨、墨遊会、楡の会、平波吟社、ふきのとう俳句会、野菊俳句会、岳風剣淵詩吟会、剣淵民謡連絡協議会、民舞扇の会、道北歌謡研究会剣淵会、ひまわりサークル、剣淵屯田太鼓、剣淵フォークダンス愛好会の17団体で192名の会員が在籍しています。

平成28年9月11日に剣淵町が当番となり「くらしの中にいきいきと！ふるさと文化」をテーマに、第55回道北文化集会を開催し、6市町約500名の会員が一同に会して研鑽と交流を深めることができました。

今後も剣淵町における文化団体相互の連絡調整を図り、地域文化の向上に寄与することを目的として活動をして参ります。

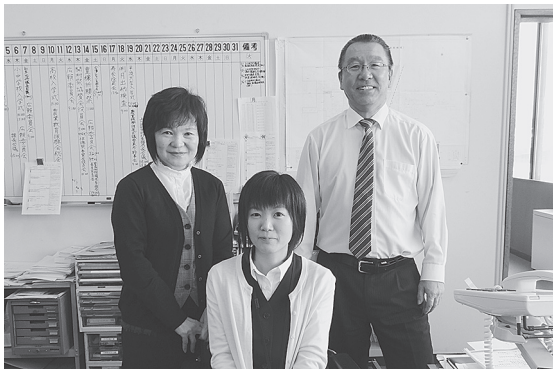
剣淵町文化協会事務局長
田中　健一氏寄稿

表　彰

生出孝男副議長全国表彰

生出副議長は2月に開催された全国町村議会議長会総会において議員として27年以上在職し功労があったとして表彰されました。

議会事務局職員


小沼パートタイム職員・鴻野庶務係長・中村事務局長

編集後記

剣淵町議会の議会だよりは平成2年5月に第一号が発行され以来27年、118号になります。当初から議員のみで取材、執筆、編集をし各号発行まで一回当り6回位の広報委員会を開催し、議会の動き、委員会活動、町民の声を載せて親しみのもたれる議会だよりを目指しています。3月予算議会・6月・9月・決算・12月などの定例会と臨時議会を合せて皆様に届けています。広報委員5人の知恵を絞っての議会だよりですので、皆様ぜひ読んで感想をお聞かせくださるようお願い致します。

広報委員のメンバー（編集の様子）

発行▶剣淵町議会　編集▶議会広報特別委員会　住所▶剣淵町仲町37番1号　電話▶0165（34）2121
ホームページ▶http://www.town.kembuchi.hokkaido.jp